

2 一般会計・特別会計実質収支

(単位：千円)

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 C (A-B)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 E (C-D)	うち地方 自治法第 233条の2 の規定に よる基金 繰入額
				継続費 通次 繰越額	繰越 明許費 繰越額	事 故 繰越し 繰越額	計 D		
一般会計	858,001,176	850,599,276	7,401,900	-	5,415,523	45,604	5,461,127	1,940,773	1,732,000
特 別 会 計	競輪事業	22,019,300	22,006,739	12,561	-	-	-	12,561	-
	卸売市場事業	1,962,387	1,962,387	0	-	-	-	0	-
	国民健康保険事業	123,164,759	122,834,200	330,559	-	-	-	330,559	-
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	353,101	213,200	139,901	-	-	-	139,901	-
	後期高齢者 医療事業	19,119,454	18,186,826	932,628	-	-	-	932,628	-
	公害健康被害 補償事業	191,430	58,692	132,738	-	-	-	132,738	-
	介護保険事業	105,670,006	103,982,002	1,688,004	-	-	-	1,688,004	-
	港湾整備事業	3,804,824	3,257,024	547,800	-	510,114	-	510,114	37,686
	勤労者福祉 共済事業	100,684	100,683	1	-	-	-	1	-
	墓地整備事業	440,427	242,299	198,128	-	121,500	-	121,500	76,628
	生田緑地 ゴルフ場事業	434,441	344,531	89,910	-	-	-	89,910	-
	公共用地先行 取得等事業	444,327	444,327	0	-	-	-	0	-
	公債管理	169,254,490	169,254,490	0	-	-	-	0	-

実質収支 形式収支（歳入歳出差引額）から翌年度繰越事業費等に充当されるべき財源を差し引いた実際の当年度の収支を明らかにするものである。